

青葉台自治会の沿革

平成	元年末	青葉台ニュータウンとして入居開始 小学校は高須小学校、中学校は高須中学校
平成	2年	青葉台南が31区（高須地区）自治会28組として組織
平成	3年 4月	青葉小学校開校開校 青葉台南3丁目が29組として分割
平成	4年 4月	西・東で30組を結成
平成	5年 4月	南1丁目分割（南1・2・3が確立） 青葉台合同自治会結成
平成	6年 4月	西1・西3・西4と5・西2と東の4つに分離（計7組）
	同年 4月	青葉台公民館開館
平成	7年 4月	若松区第38区青葉台自治会発足（組名は住所主体に変更）
	同年 9月	CATV自主管理組合の管理を自治会で受領
	同年 9月	<u>青葉台自治会が認可地縁団体となる。【法人化】</u> <u>認可書番号：北九州市指令市市区第176号（平成7年9月4日）</u>
平成	8年 4月	CATV部・社会福祉部を増設
平成	11年 4月	青葉市民福祉センター開所 青葉地区まちづくり協議会発足
平成	14年 4月	青葉地区青少年育成協議会を合体し自治会青少年育成部として 組織改正
平成	15年 2月	CATVデジタル化対応住民投票実施
	同年 4月	自治会役員各組より選出制度実施 <u>自治会役員2年任期の半数毎年入替制度導入</u>
平成	16年12月	CATVデジタル化工事完了 青葉台市民福祉センターが青葉市民センターへ名称変更
平成	19年10月	CATV地上デジタル放送開始
平成	22年 4月	「青葉台みまわり隊」結成
平成	25年 8月	青葉台CATV施設のJ：COM移管が投票により決定
平成	26年 6月	青葉台CATV施設のJ：COM移管が完了
平成	27年 5月	青葉台自治会ホームページを開設
平成	27年11月	会員投票の結果「青葉台フェスティバル」の中止を決定
平成	28年 4月	社会福祉部を青葉台地区社会福祉協議会として自治会から分離
平成	28年11月	カラーコピー機を導入
平成	29年 4月	社会福祉部を再設立
平成	29年 9月	敬老行事「第1回青葉笑和会」を青葉小学校体育館で開催
平成	30年 1月	防犯カメラ第1号を設置（青葉台南1丁目公園）
平成	30年 4月	<u>青葉台自治会総会で法人化の要件を議決し、認可地縁団体として 活動を開始（「若松区第38区青葉台自治会」の名称が承認される）</u>
平成	30年 5月	自治会規約（改訂第2版）が北九州市長の承認を受ける。
平成	30年10月	敬老行事「第2回青葉笑和会」を青葉小学校体育館で開催
平成	31年 3月	防犯カメラを追加設置（8箇所）
令和	元年10月	敬老行事「第3回青葉笑和会」を青葉小学校体育館で開催
令和	2年 4月	コロナウィルス感染予防の観点から令和2年度青葉台自治会総会 を書面議決に変更
令和	3年 4月	コロナウィルス感染予防の観点から令和3年度青葉台自治会参加 者を制限して実施